



知覧町 郡 宮原 千草

グリーン・ツーリズムで 地域を活性化

町内で修学旅行生の受け入れをして11年、バスツアーでの体験教室、留学生受け入れ交流などの民宿は10年目になります。料理体験ではお茶やサツマイモを使い、知覧の農産物のピーアールとおいしい食べ方を教えて地産地消に努めています。

私の住む後岳は中山間地域でお茶の段々畑が多く景観の美しいところです。近年、高齢化が進み、お茶の価格低下などでやる農家が増えていま



頴娃町 牧之内 田中 眞

ANDのこころ

福岡での勤務を最後に、定年退職を迎え、ふるさと「頴娃」での生活も2年4カ月になる。

新居への引越し、新たな勤務での鹿児島までの通勤、長年携わっている高校野球審判委員としての活動、地域活動への参加、同級生との交わり、そして少しばかりの家庭菜園での野菜・花づくり等々である。この間、地元新聞の「ひろば」にも投稿し、2回ほど掲載していただいた。その一つ目の「定年退職後に帰ったふるさと

は最高」にも書いたが、今その気持ちは変わらない。子どもたちの明るい元気なあいさつ、地元住民とのコミュニケーション等々本場に「我がふるさと」は最高である。

先日の南日本新聞に「18年後は空き家が2000万戸超に」という記事があった。「どげんかしたい近所の空き家」という二つ目の原稿にも書いたが、これからの大きな課題の一つであろう。

私の二人の子どもは横浜に新居を構えており将来ふるさとに戻ってくることはないだろう。と、考えると我が家も今から「空き家利用プラン」なるものを考えておく必要があると感じさせられた。昔からいる地元の人と新しく移り住んでくれる人たちが、うまく融合し生活している我が自治会を「空き家自治会」にし

ないためにも、個人、地域として行政が連携し考えていきたいものである。南九州市でも空き家条例が制定されるやに聞いている。条例の制定に大いに期待したい。

〈地域のイベント〉



番所絶景まつり



知覧ねぷた祭り



田んぼアート

編集後記

今年の梅雨は、毎日のように降り続き、雨量は例年の3倍ほどと大変な年であった。

梅雨入りと同時に大雨が続く幸いに人的被害はなかったものの道路損壊や農地災害等が多く発生し、農作物の生産や生活環境にも多大な影響が生じた。

気象の変化と言え、全国的に火山噴火が発生し、口之永良部での全島避難や浅間山の噴火、昨年は御嶽山の噴火で多くの登山客が亡くなられた。さらに、今年はエルニーニョ現象で日本を含め世界各地で異常気象の影響が心配されています。

まずは夏が順調で農作物や産業に影響がなく、豊作の秋を迎えられることを切に願う。(西)

▼広報編集委員会

- 委員長 西 次雄
副委員長 吉永 賢三
委員 松久保正毅
蔵元 慎一
内園知恵子